



七夕風船リリース

7月の行事といえば…、「七夕」を思い浮かべ
る方が多いのではないのでしょうか。

七夕(たなばた)は、「五節句(ごせつく)」のひ
とつで伝統的な行事です。五節句とは、一年
の大切な節目をあらわす行事で、七夕以外に

も、3月3日の「桃の節句」や5月5日の「端午の節句」などがあります。

七夕の由来については諸説ありますが、牽牛星(けんぎゅうせい=彦星)と織女星(しょくじょせい=織姫)の伝説にもとづいて生まれた中国の「乞巧奠(きっこうでん)」と、日本で古くから行われてきた「棚機(たなばた)」という風習とが合わさったものだといわれています。

もちろん、三重病院でも7月5日に七夕をしまし
た。三重病院の七夕は毎年の恒例行事で、津市
青年会議所の皆さんのご協力により開催してい
ます。七夕当日は、津市青年会議所の皆さん
が約100個の風船を準備したり、会場設営をし
たり…と大活躍！ この風船は自然に優しい素材
の風船なので、風船を飛ばすことによる環境汚染
等の心配はないとのこと、ととても環境にも優しい



風船です。16時にセレモニーが始まり、青年会議所の皆さんによる「3.2.1」のかけ
声で、参加して下さった患者さんたちは一斉に短冊の風船を飛ばしました。とても
キレイな風景で、いつまでも風船の行き先を眺めている患者さんたちもいました。

また、風船で飛ばしきれなかったお願いごとは、笹に飾りました。三重病院でも、「早
く病気が治りますように」「お友だちと一緒に遊びたい」等、たくさんの願いごとを書き
ました。その笹は、津市青年会議所の皆さんにより、7月7日当日に岩田川へ流して
いただきました。無事、天に願いが届きますように☆彡

今年も津市青年会議所の皆さんのご協力で七夕を開催することができました。本
当に毎年ありがとうございます!! ぜひ、来年もよろしくお願ひします!

(主任児童指導員 丸澤由美子)

通所支援事業

通所のブーム?!

最近、通所支援では「パネルシアター」がブームです。黒いボードが出てくると、利用者さんたちのソワソワ・ウキウキとした様子が見られます。梅雨時期は、外に出られる日ばかりではありませんが、それでも、天気は左右されずに「楽しいことをしたい!!」と思い、通所支援事業ではみんなで楽しめるものを探していました。ハンモック、トランポリン、制作…といろいろ取り組みました。どれも「楽しい」「面白い」で笑顔いっぱいでしたが、その中でも利用者さんのブームは「パネルシアター」でした。特に人気はミュージカル風「たまごのあかちゃん」です。歌に合わせて動物たちがでてくると、みんな集中してジッとボードを見たり、身体をリズムに合わせて揺らしたりしています。雨が続きとテンションが下がってしましますが、通所支援は雨の日も「楽しい」「面白い」雰囲気いっぱいです♪

(主任児童指導員

丸澤 由美子)



新任のごあいさつ

2019年7月1日付

●小児科 山田 慎吾 先生



約二年ぶりに三重病院に戻ってまいりました、山田慎吾です。出身は奈良県、趣味はバスケットボールです。これまでに、県立総合医療センター、伊勢赤十字、三重中央医療センター、鈴鹿中央病院、松阪中央病院、三重大学附属病院と、県内のすべての小児科病院を経験してきました。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。

三重病院に来てくれている患者様、その家族の方々をHAPPYにするため、そして三重病院でともに子供たちのために頑張ってください。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。年齢は35歳を迎え、もうすぐ2歳になる長女が私にそっくりな顔です。

●小児科 牛田 英里 先生



この7月より三重病院小児科に異動となりました、小児科の牛田英里と申します。以前は三重県立総合医療センターで勤務しておりました。

三重病院で働き始めて2週間以上が経ちますが、病院の方々は皆さん優しく、とても良い雰囲気の病院だなあと感じています。新しく学ぶこともたくさんあり、皆様のおかげで毎日充実した日々を過ごせております。若輩者ではございますが、患者様が元気に過ごせるよう精一杯診療を行っていきたく思います。今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

●小児科 林 良一 先生



みなさまはじめまして。7月から松阪中央総合病院から異動となりました。小児科医としては3年目で、まだまだ勉強中の身です。自分の学童期は喘息がひどく、三重病院のような施設で数年間入院し、毎日ランニングや乾布摩擦、水浴びなどの鍛錬をしていました。今は新たな治療法が出て、喘息の治療も時代とともに様変わりしています。先進的な治療に取り組んでいる三重病院で研修できることは非常に刺激的です。鍛錬していたはずの体も今やおじさん体型になってはしまいましたが、小児科医に憧れた学童期を再度思い出し、懸命に頑張りたいと思います。

みなさまどうぞよろしくお願ひいたします。



●小児科 菅田 健 先生



お隣り愛知から来ました小児科の菅田健です。多くの偉大な先生方が勤務されてこられた三重病院での働く機会を大変嬉しく思っています。藤田医科大卒業後、大学院からロタウイルスの研究を始め米国留学し現在も継続しています。昨年からは谷口先生とガーナのリサーチプロジェクトに参加させて頂いています。趣味は旅行(国内外どこでも)、食べ歩き(甘いもの以外)、スポーツ(サッカー)です。いつか熊野古道を歩いてみたいと思っています。初の三重なので、お勤めの店や見所があったら教えていただくと嬉しいです。

診療、研究に貢献できるように頑張りますので宜しくお願ひ致します。

